

白山の火山活動解説資料（平成 21 年 6 月）

気象庁地震火山部
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・噴気など表面現象の状況（図 4）

国土交通省金沢河川国道事務所の土砂災害監視用カメラでは、山頂部に噴気は認められませんでした。また、4 日に北陸地方整備局の協力により上空から実施した山頂部の目視観測でも噴気は認められませんでした。

・地震や微動の発生状況（図 2、図 3※）

白山付近を震源とする地震の発生回数は少なく、地震活動は静穏に経過しました。
火山性微動は観測されませんでした。

・熱活動（図 4）

4 日に北陸地方整備局の協力により上空から実施した山頂部の地表面温度観測¹⁾では、高温領域は認められませんでした。

- 1) 赤外熱映像装置により観測しています。赤外熱映像装置は、物体が放射する赤外線を感じて温度を測定する測器で、熱源から離れた場所から測定することができる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合があります。

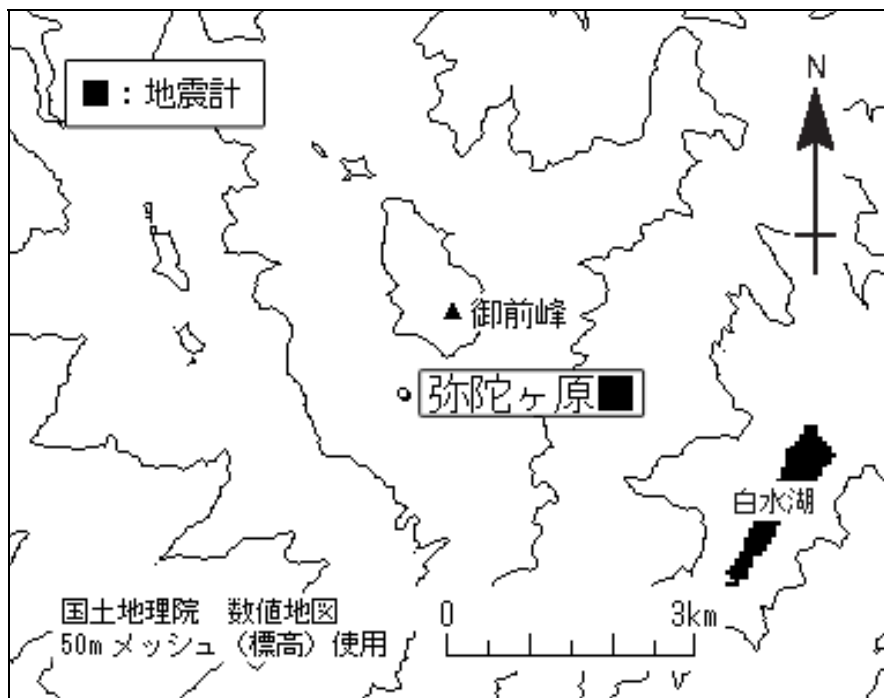


図 1 白山 気象庁の観測点配置図（小さな白丸は観測点位置を示しています）

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 21 年 7 月分）は平成 21 年 8 月 7 日に発表する予定です。

※この記号の資料は気象庁のほか、国土交通省金沢河川国道事務所、東京大学及び独立行政法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50m メッシュ（標高）』を使用したものです（承認番号：平 20 業使、第 385 号）。

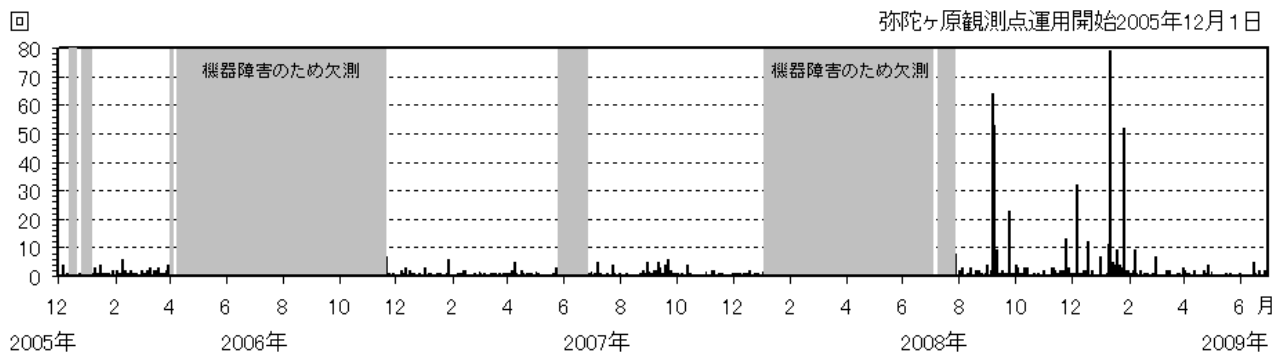


図 2 白山 日別地震回数（2005 年 12 月 1 日～2009 年 6 月 30 日）

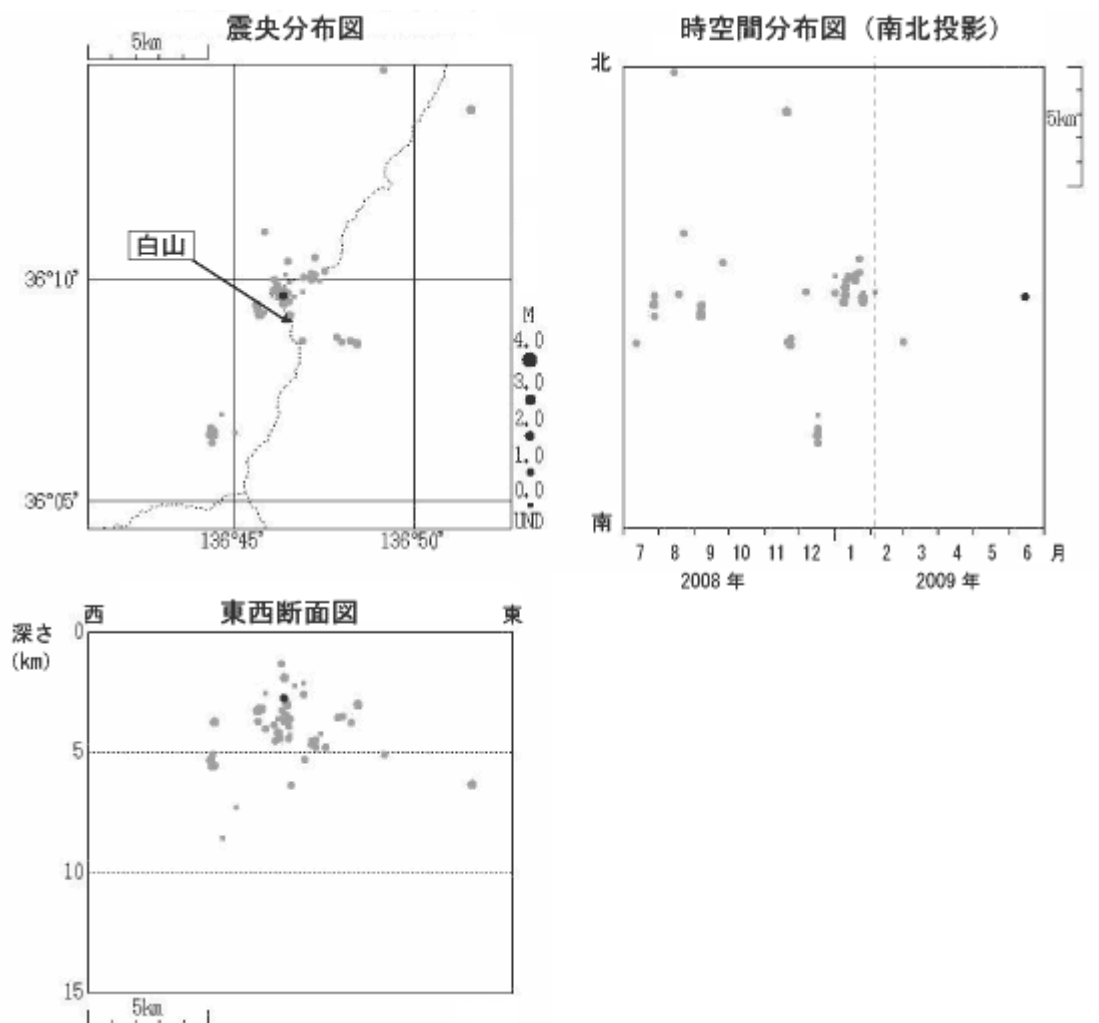
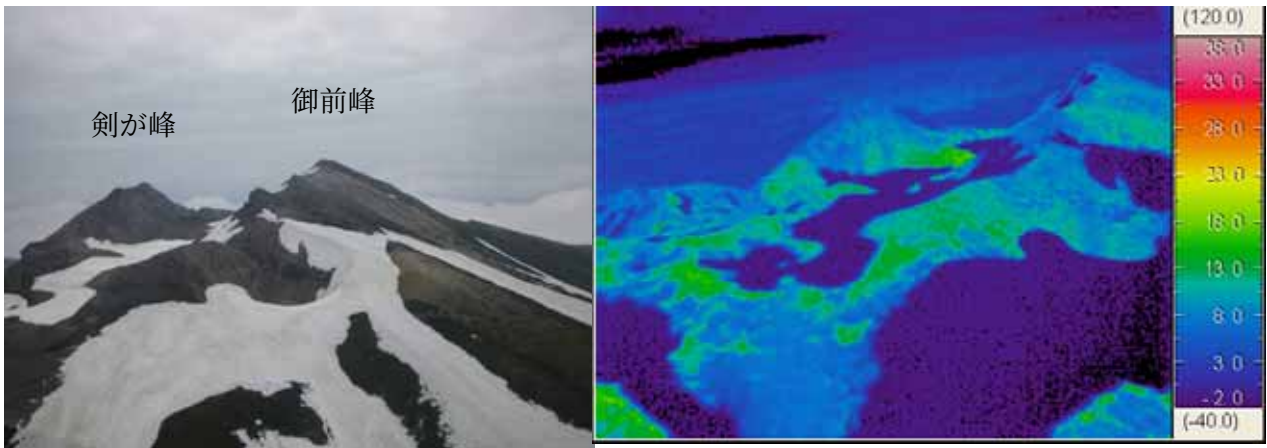


図 3※ 白山 震源分布図（2008 年 7 月 1 日～2009 年 6 月 30 日）

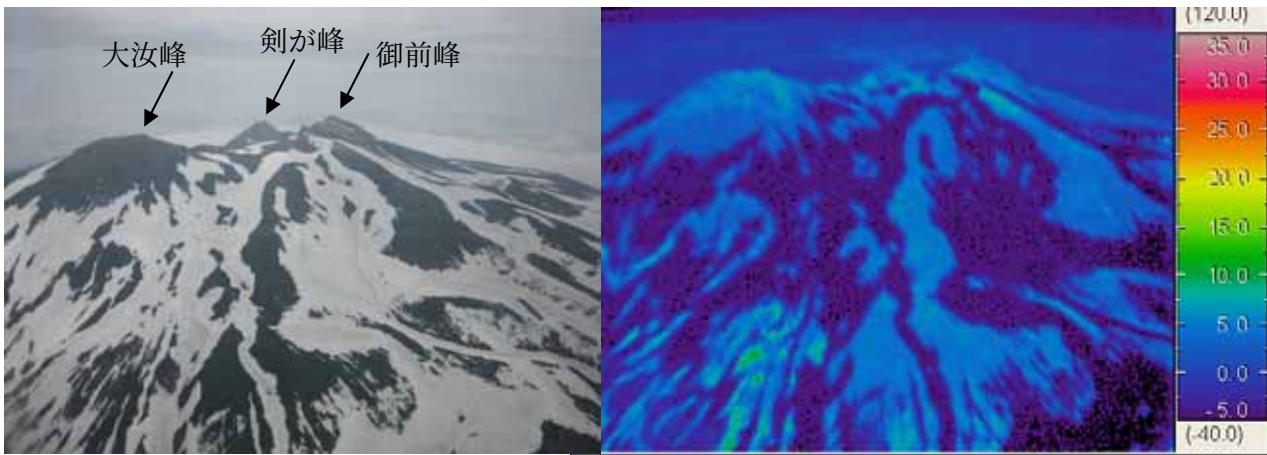
●：2008 年 7 月 1 日～2009 年 5 月 31 日

●：2009 年 6 月 1 日～2009 年 6 月 30 日

M（マグニチュード）は地震の規模を表します。図中の震源要素は一部暫定値で、後日変更することがあります。



2009 年 6 月 4 日 9 時 40 分（北陸地方整備局の協力による）



2009 年 6 月 4 日 9 時 44 分（北陸地方整備局の協力による）

図 4 白山 山頂部の地表面温度分布（西側上空から撮影）